

第10回 修士論文発表会

概要：①M-GTA（修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチ）を活用して修士論文を書き上げた学位取得者の**成果発表**——領域的知見と方法論的な苦労や工夫について発表してもらい、後学の参考とする。②現在M-GTAを活用して修士論文にとりかかっている修士課程生の**中間発表**——スーパーバイザーやフロアとのやり取りを通じ、研究の洗練を促す。

日時：2017年7月29日（土） 13：00～18：00

会場：大正大学7号館4階741教室

https://www.tais.ac.jp/utility/access_map/

参加スーパーバイザー：阿部正子（長野県看護大学）、小倉啓子（ヤマザキ学園大学）、木下康仁（立教大学）、倉田貞実（浜松医科大学）、小嶋章吾（国際医療福祉大学）、坂本智代枝（大正大学）、佐川佳南枝（熊本保健科学大学）、竹下浩（職業能力開発総合大学校）、丹野ひろみ（桜美林大学）都丸けい子（聖徳大学）、長山豊（金沢医科大学）、根本愛子（東京大学）、林葉子（[株]JH産業医科学研究所）、松戸宏予（佛教大学）、宮崎貴久子（京都大学）、山崎浩司（信州大学）

プログラム：

13：00～13：10 開会の挨拶・趣旨説明 林葉子・坂本智代枝

13：10～14：30 中間発表 [SV:小嶋章吾]
「自閉傾向のある在宅重度知的障害者が肥満に至るまでの家族の肥満に関する認識と行動」
野中光代（愛知県立大学大学院 看護学研究科 地域国際看護学研究分野M2）

14：40～15：50 成果発表 [SV:林 葉子]
「埼玉県X市における学校と放課後等デイサービスとの連携の現状と課題」
谷田 悦男（星槎大学大学院教育学研究科教育学専攻2017年3月修了）

16：05～17：25 中間発表 [SV:丹野ひろみ]
「アルコール依存症者が断酒と就労を継続していくプロセス
～就労している断酒会員へのインタビュー調査～」
佐野雪子（浜松医科大学大学院医学系研究科看護学専攻地域看護分野M2）

17：35～17：55 総括コメント 木下康仁

17：55～18：00 閉会の挨拶 阿部正子

申込：会員は研究会HPかMLから**7月27日[木]21時まで**にお申し込みください。非会員は**7月21日[金]以降**に研究会HPで公開される参加申込URLから、お申し込みください。定員になり次第〆切ります。なお、非会員は当日資料代**2,000円**を申し受けます。

問合せ：modifiedgta@gmail.com

担当：第10回修士論文発表会ワキンググループ（坂本・阿部・都丸・宮崎）